

子どもの居場所づくり検討部会

第1回 会議資料

日時：令和8年1月15日(木)

午後2時30分から午後4時

場所：大田区消費者生活センター 2階 第一集会室

目次

1	子どもの居場所づくり検討部会の設置について	3
2	子どもの意見聴取の状況	4
①	子ども・子育て計画策定アンケート	4
②	1000人アンケート	6
③	大田区パークマネジメントマスタートップラン<素案>こどもアンケート・・・・	9
3	居場所における「子どもの意見聴取」の取組み	12
3-1	児童館の取組み	12
(1)	国事業の活用	12
(2)	こどもが主体的に参画・参加した取組み	15
3-2	その他の取組み	19
(1)	公園	19
(2)	青少年対策地区委員会	20
(3)	地域とつくる支援の輪プロジェクト	21
4	地域における子どもの居場所づくりと連携	22

1. 子どもの居場所づくり検討部会の設置について

(1)目的

- ・近年、地域のつながりの希薄化、核家族化や少子化の進行など、子どもを取り巻く環境が変化する中、子どもが抱える課題は複雑化し、価値観の多様化も進んでいる。
- ・子どもたちが安全で充実した居場所を持つことの重要性が高まる中、子どもの最善の利益を確保する視点での居場所づくりを進めるため、大田区こども未来会議第11条に基づく専門部会を設置し、地域全体で支える子どもの居場所づくりについて専門的に検討する。

(2)部会の検討事項

- ・令和5年12月に閣議決定された「子どもの居場所づくりに関する指針」を踏まえながら、子どもの視点に立った居場所づくりを推進するため、次の事項を中心に調査、検討を行う。

- 子どもの意見聴取を反映した居場所づくり
- 地域における子どもの居場所づくりと連携
- 災害時の子どもの居場所づくり
- 大田区児童館構想の主要施策の進捗状況確認 等

(3)今後の予定

- ・令和7年、8年度中に4回程度の部会を開催し、各部会における検討内容を大田区こども未来会議に報告する。本会議での答申を踏まえ、検討結果を区の子どもの居場所づくりに関する施策につなげる。

検討部会	第1回	第2回	第3回	第4回
開催・開催予定	令和8年1月15日	令和8年5月頃	令和8年9月頃	令和9年1月頃

2-① 子どもの意見聴取の状況

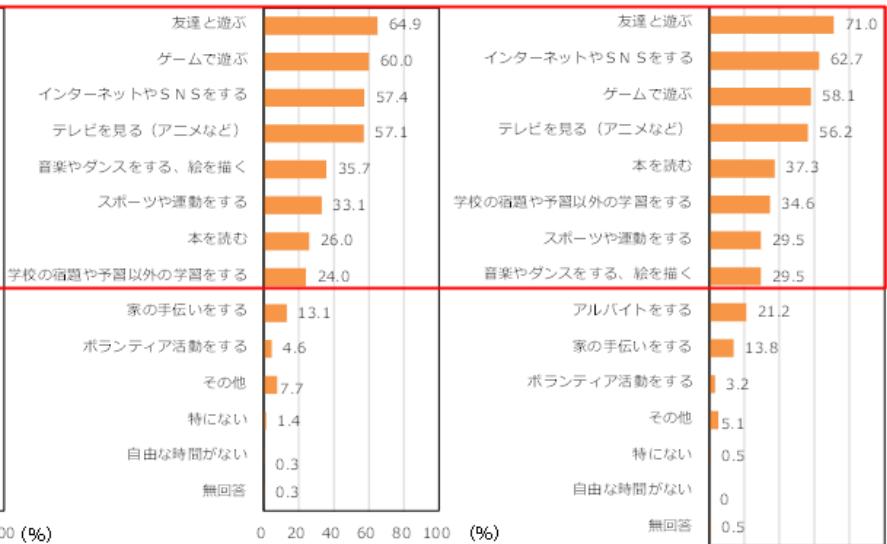
■ 大田区子ども・子育て支援計画改訂に向けたアンケート調査報告書(令和6年5月)

• 放課後や休日の自由な時間にしたいこと

■小学生(n=366)



■中学生(n=350)



■高校生世代(n=217)



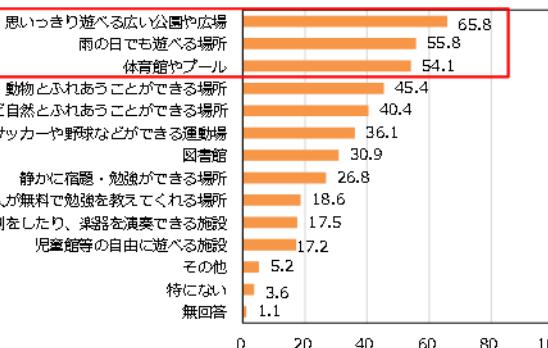
意見のポイント

○ 自由な時間の過ごし方として全年齢層で、「友達と遊ぶ」「ゲームで遊ぶ」へのニーズが高く、年齢が上がるにつれて、「インターネットやSNS」等のデジタル活動が増加している。小学生から高校生になるにつれて、活動の嗜好に変化が見られる。

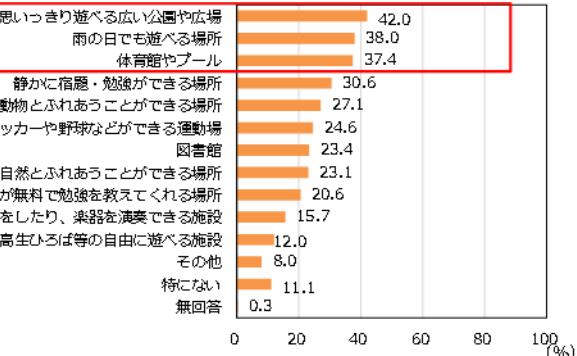
○ 近くにあるとよい遊び場として、小学生、中学生は「思いっきり遊べる広い公園や広場」「雨の日でも遊べる場所」体育館やプールが上位を占め、高校生世代は、「静かに勉強できる場所」「思いっきり遊べる広い公園や広場」が上位となっている。

• 近くにあるとよい遊び場

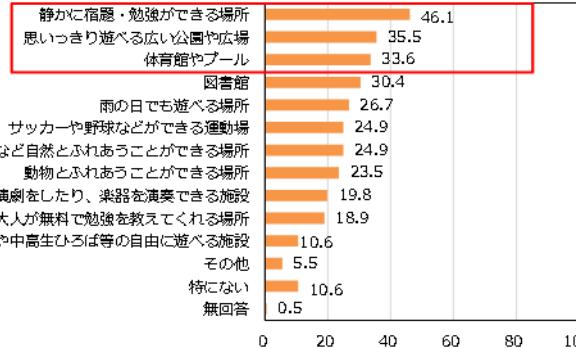
■小学生(n=366)



■中学生(n=350)



■高校生世代(n=217)



2-① 子どもの意見聴取の状況

- ・児童館や中高生ひろば(中高生世代のみ)でやってみたいこと

	小学生	中学生	高校生世代
1番目	運動遊び、スポーツ (52.7%)	運動遊び、スポーツ (40.9%)	運動遊び、スポーツ (34.6%)
2番目	クッキング、食育 (38.0%)	クッキング、食育 (23.1%)	音楽活動(歌、楽器演奏) (18.9%)
3番目	図画、工作、造形活動 (36.6%)	図画、工作、造形活動 (20.0%)	外国語活動(英語や外国の文化の学び)(18.4%)
4番目	伝承遊び(鬼ごっこ、コマ、けん玉、折り紙、あやとり等) (32.8%)	音楽活動(歌、楽器演奏) (16.9%)	図画、工作、造形活動 (16.6%)
5番目	季節行事体験活動 (18.6%)	ダンス、ミュージカル (15.7%)	ダンス、ミュージカル (15.7%)

意見聴取結果より

■多様な居場所のニーズ

両調査とも、子どもたちが多様な居場所を求めていることを示しています。家庭、学校、公園、図書館等、様々な場所が子どもたちの居場所となっています。

■年齢による多様な活動ニーズへの対応

スポーツから文化活動、学習支援まで、幅広いニーズに対応する必要があります。

■安全で自由な空間の確保

子どもたちが安全かつ自由に過ごせる空間が求められています。

■学校環境の改善

校則の見直しや授業の改善など、学校に関する課題が多く挙げられています。

■地域社会全体の環境改善

ごみのポイ捨てや騒音、治安の改善等、地域社会全体の課題も指摘されています。

意見のポイント

- 全年齢層において、児童館、中高生ひろばでやってみたいことは、「運動遊び、スポーツ」が最も多くなっている。続いて、小学生・中学生では「クッキング、食育」「図画、工作、造形活動」、高校生世代では「音楽活動(歌、楽器演奏)」「外国語活動(英語や外国の文化の学び)」が多くなっている。

課題

○年齢層に応じた活動場所の不足

特に中学生、高校生世代向けの居場所が不足している。

○思いっきり遊べる広い公園や広場の不足

全年齢層において思いっきり遊べる場所が求められている。

○天候に左右されない遊び場の確保

雨の日でも遊べる場所が求められている。

○学習場所の確保

静かに勉強できる場所が求められている。

2-② 子どもの意見聴取の状況

■ 地域とつくる支援の輪プロジェクト「子ども1,000人アンケート」実施結果(令和6年度)

- 自分にとって居心地の良い・愛着がある・好きと思える場所（居場所）

ある	ない	未回答	計
831人	16人	3人	850人
97.8%	1.8%	0.4%	100%

- 居心地が良い理由

場所	理由		
家・自分の部屋	■好きなものがある ■プライバシーが守られ、落ち着く、安心感がある	■好きなことができる ■家族と一緒に過ごせる	
学校	■友達と一緒に過ごせる、話せる ■みんなが自分を認めてくれる	■守られた環境の中で安心して過ごせる ■勉強や部活が楽しい	
図書館	■静かで落ち着ける	■本が読める、集中できる	
習い事・塾	■友達がいる、先生が優しい	■自分に合った勉強ができる ■いつでも開いている	
公園	■友達と一緒に遊べる、いつでも行ける	■明るく賑やか	
SNS	■好きなことができる、共通の趣味の人と話せる ■直接的な関わりがない安心感		
児童館、子ども食堂、学習支援施設	■にぎやかで楽しい ■好きなマンガや玩具がある	■大人が優しく、安心できる ■好きなことができる	
お店、飲食店、カフェ	■気分転換ができる	■雰囲気が良い、居心地が良い ■静か過ぎないところがいい	

2 - ② 子どもの意見聴取の状況

- 居心地が良い場所に必要なもの

必要なもの	項目
■みんな平等に過ごせること	子どもの権利
■危険がない ■安心できる ■ルールやマナーを守る	安全性
■自分のペースで過ごせる ■制限がない	自由度
■遊具、ゲーム、スマホなどの娯楽 ■清潔で落ち着ける環境 ■Wi-Fi ■食べ物	物理的因素
■理解してくれる人、優しい大人 ■友達や家族と過ごせること ■信頼できる人がいる	人的要素
■静かで落ち着ける ■自由に過ごせる ■安心感がある ■ストレス解消	雰囲気・環境
■好きなことができる環境 ■必要な道具がある ■多様な人と交流できる	活動

- 身の回りの環境に対する不満・改善点

不満・改善点	項目
■ふざけていやなことをしてくる(友人関係) ■見た目で判断せず中身で判断してほしい ■大人の態度(怒りやすい、理解してくれない、頭ごなしに禁止する)	人間関係
■校則の厳しさ、授業の改善要望 ■勉強や受験のプレッシャー	学校関連
■ゴミやタバコのポイ捨て、騒音などの環境の悪さ ■治安の悪化 ■ルールを守ってほしい ■物価高	社会環境
■テストや入試問題への不満	制度的な問題
■中学生が長時間過ごせる場所の不足 ■図書館や公園、児童館の増設・改善要望	公共施設

2-② 子どもの意見聴取の状況

・大人への要望

要望	項目	
■意見を大切にしてほしい ■個性を尊重してほしい	■決めつけや押しつけをやめてほしい ■子どもの自由を認めてほしい ■プライバシーを守ってほしい	自由と尊重
■安心できる未来を作ってほしい ■環境問題を解決してほしい	■子育て支援を充実させてほしい ■経済面での支援(物価上昇対策など)	社会環境の改善
■校則の見直し ■子どもの立場に立った教育		教育環境の改善
■子どものお手本になってほしい ■肯定的な態度で接してほしい	■柔軟な考え方を持ってほしい ■見た目で判断しないでほしい	大人の態度
■子どもの意見を聞いてほしい	■最後まで話を聞いてほしい ■優しく接してほしい	コミュニケーション

子ども1000人アンケート意見のポイント

- 97.8%の子どもが居心地の良い居場所を持っており、居場所の存在が子どものウェルビーイングに大きく影響していることから居場所の重要性がわかる。
- 家庭、学校、図書館、公園、SNSなど、子どもたちの居場所は多岐にわたり多様な居場所がある。
- 安全性、自由度、物理的要素、人的要素、雰囲気・環境、活動の可能性など、多様な要因が居心地の良さに寄与している。
- SNSが子どもたちの居場所となっており、デジタル空間も重要な居場所として認識されている。
- 中高生の特有ニーズとして学習支援施設やカフェなどが挙げられており、中高生特有の居場所ニーズが存在している。

2-③ 子どもの意見聴取の状況

■大田区パークマネジメントマスタープラン<素案>こどもアンケート抜粋

(3) こどもアンケート

1) 概要

こどもたちの公園に関する利用実態やニーズを調査するため、表5のとおり区内の小中学生及び未就学児を対象として公園に関するアンケートを実施しました。

表5 こどもアンケート概要

実施期間	調査対象	回答件数	備考
令和7年7月1日～7月31日	区立学校の小中学生	3,417件	※未就学児については、保護者と一緒に回答
令和7年7月28日～8月17日	区立保育園の未就学児		



図16 地域別の回答件数
※地域について無回答が190件

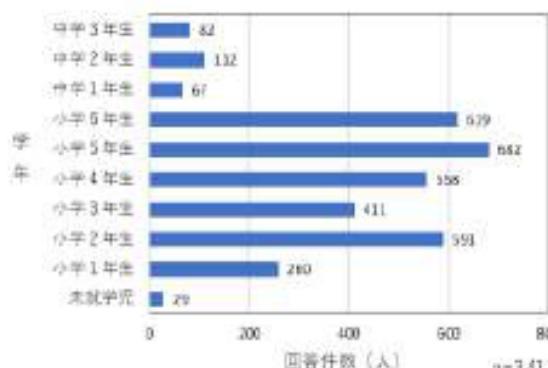


図17 学年別の回答件数
※学年について無回答が6件

2) 公園の利用頻度

設問 どのくらい公園に行きますか。

公園の利用頻度は、「1週間に1～2日」が最も多い、次いで、「ほとんどいかない」、「1か月に1～2日」が多くみられました。

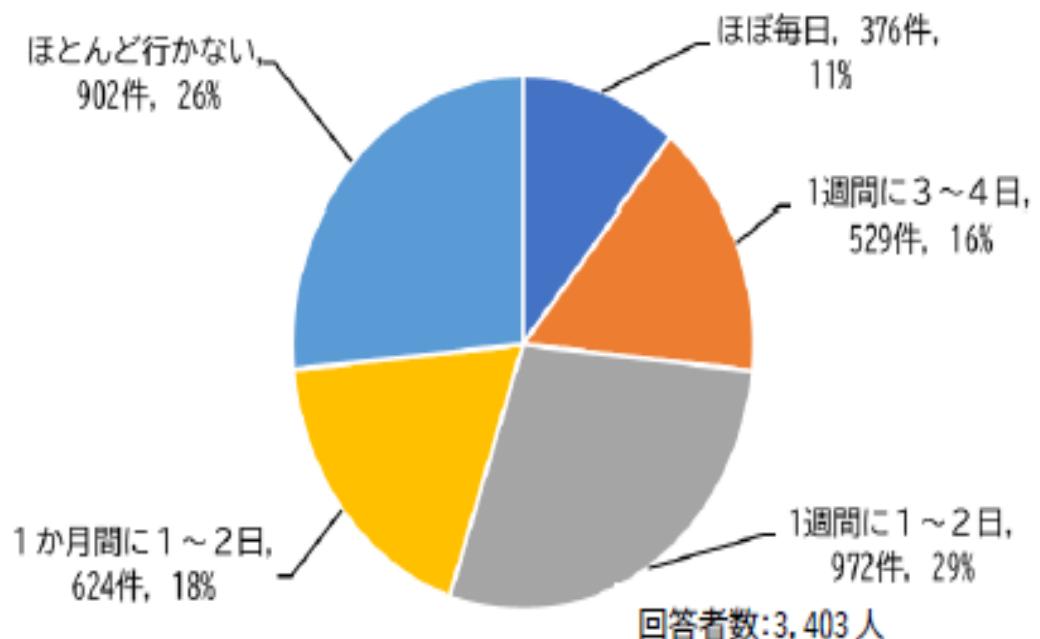


図18 公園の利用頻度

2 - ③子どもの意見聴取の状況

3) 公園の利用状況

設問 公園でどんなことをしますか。(3つまで)

公園の利用状況は、「おにごっこやかくれんぼ」が最も多い、次いで、「遊具遊び」、「ボール遊び」、「友達とおしゃべり」が多くみられました。

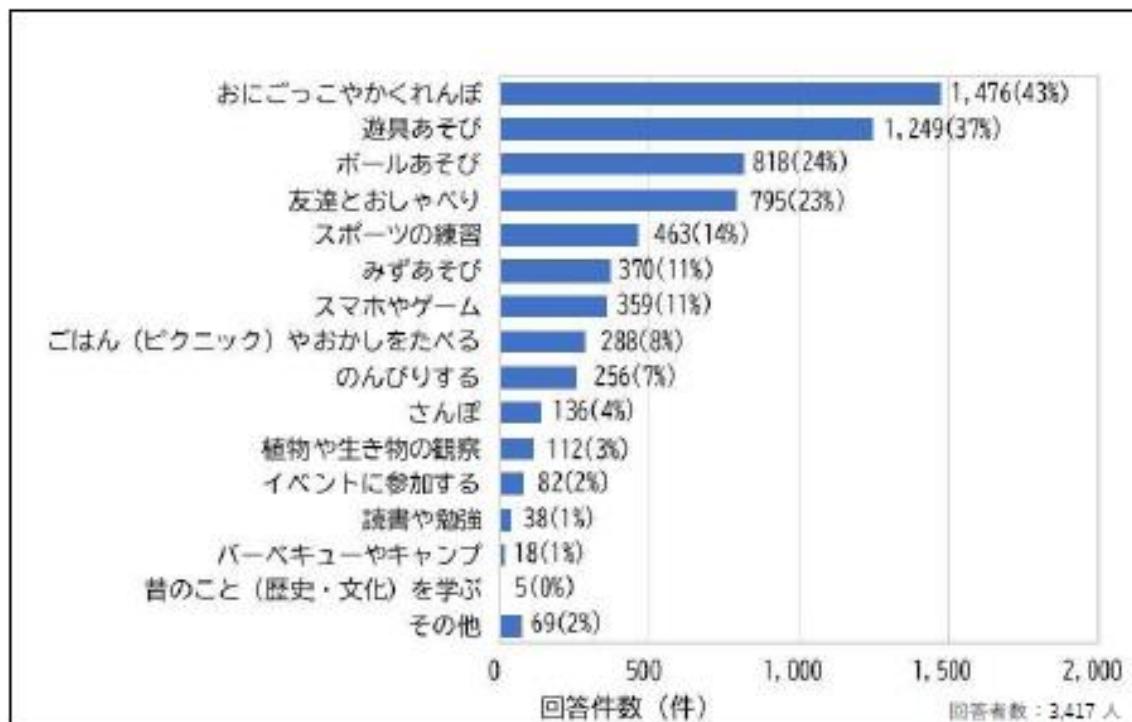


図 19 公園の利用状況

※ () 内の数字は、回答者数に対する割合(%)

4) 公園で直してほしいこと

設問 大田区の公園で直してほしいところはありますか。(3つまで)

公園で直してほしいことは、「ボール遊びのできる場所が少ない」が最も多い、次いで、「特になくない」、「ゴミがよく落ちている」、「禁止事項が多い」が多い結果になりました。

その他の意見では、トイレが臭い・汚いこと、公園にゴミがあつたり汚いこと、ボール遊びや花火が禁止されていることなどの意見がみられました。



図 20 公園で直してほしいこと

※ () 内の数字は、回答者数に対する割合(%)

2-③ 子どもの意見聴取の状況

5) 公園でやってみたいこと

設問 公園でやってみたいことはありますか。(3つまで)

公園でやってみたいことは、「アスレチックで遊びたい」が最も多く、次いで、「大きな遊具で遊びたい」、「ボール遊びをしたい」、「噴水や流れる川で遊びたい」、「花火をしたい」が多い結果となりました。(図 21)

その他の意見では、生き物の観察・ふれあいがしたい、スケボーや野球がしたいなどがありました。

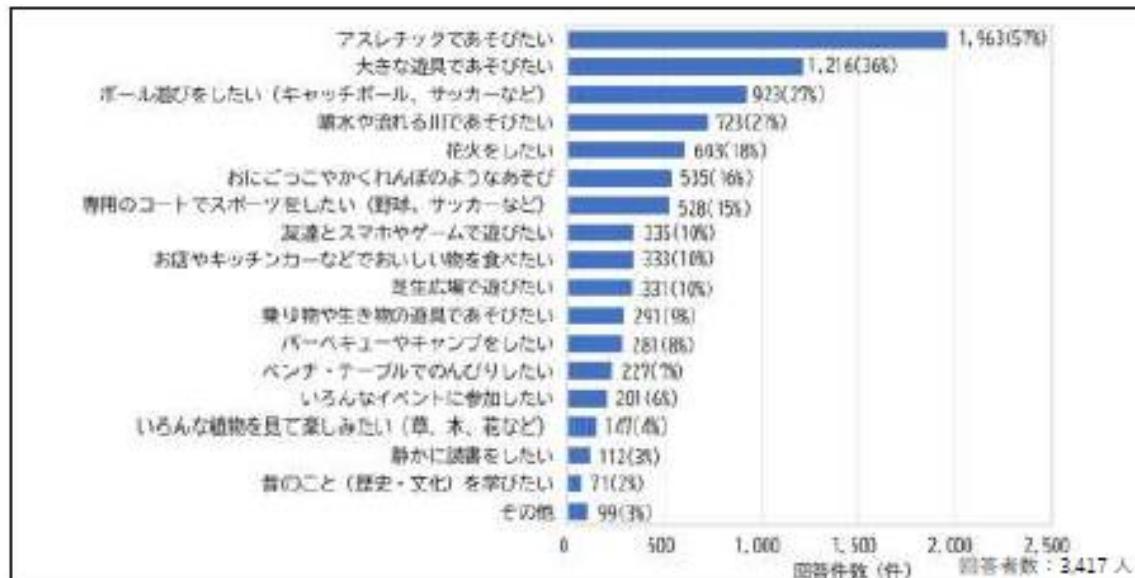


図 21 公園でやってみたいこと

※()内の数字は、回答者数に対する割合(%)

6) 好きな公園

設問 一番好きな公園はどこですか。(※大田区外の公園も可)

好きな公園について、上位 5 位の公園を表 6 に整理しました。西六郷公園(タイヤ公園)が最も多く、次いで、萩中公園、東調布公園でした。

好きな公園の理由は、上位の公園は、遊具があること、面積が広いことの意見が多くありました。また、公園ごとの特徴的な意見として、西六郷公園ではタイヤの遊具や休憩所があること等、東調布公園と萩中公園では、乗り物に乗れる、プールがある等がみられました。

表 6 好きな公園

公園	回答数
1 位 西六郷公園(タイヤ公園)	315
2 位 萩中公園	189
3 位 東調布公園	157
4 位 新蒲田公園	90
5 位 洗足池公園	86

3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

1 児童館の取組み

(1)国事業の活用

「子ども・若者意見反映推進事業におけるファシリテーター派遣」

①実施時期 令和5年12月～令和6年2月

②内容

- ・子ども達で構成する対面での会議(子どもまんなかミーティング、ティーンズミーティング)
国のファシリテーター派遣を活用し、6施設(児童館、おおたっ子ひろば、中高生ひろば)で実施。

・子どもの意見聴取

上記会議で議論された内容について、児童館等全47施設に掲示し、意見募集を行った。

③テーマ 「みんながつくる児童館」

【フィードバック・意見反映】

● 意見の掲示

子どもまんなかミーティング、意見聴取の意見を掲示

● 職員による検討

掲示した意見について、意見反映できるかを児童館職員で検討。

反映できるもの、できないもの、できない理由を整理し、児童館全体に係る内容は、
課と協議。

● フィードバック

各施設において、②を意見反映・フィードバック共通様式に記入し、施設内に掲示。

反映できるものは各施設において対応。

④更なる意見反映・フィードバック

掲示を見た子どもや保護者からの更なる意見について、②・③を行った。

3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

国事業の活用(ファシリテーター派遣)

【意見聴取の手法】

- 以下の4つの方法で子どもの意見聴取を実施した。
- 要望については、各児童館で反映できるものと反映できないものにわけてフィードバックした。

	こどもまんなか ミーティング	ティーンズ ミーティング	子どもの 意見聴取	ティーンズ 意見聴取
対象	乳幼児親子・小学生 (5館)	中高生 (1館)	乳幼児親子・小学生 (47館)	中高生 (1館)
方法	付箋で回答募集後 対面で会議	紙とWEBでアンケー トの後対面で会議	付箋で意見募集	紙とWEBでアンケー ト
期間	2023/12/5～26	2024/1/27	2024/1/27～2/10	2024/1/31～2/13
聴 取 内 容	居心地が良いと感じるとき	○	○	○
	居心地がよくないと感じる とき	○		○
	来館する目的	○	○	○
	児童館への要望	○	○	○
	来館のきっかけ		○	
	相談できる人について		○	○
	児童館以外の居場所		○	
	児童館を利用しない理由		○	

3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

国事業の活用(ファシリテーター派遣)

【意見の整理】

- 聽取した意見のうち「居心地がいいと感じるとき」「居心地がよくないと感じるとき」およびフィードバックのうち「反映できなった要望」を整理。
- 意見を分類し、意見の多かった10分類を抽出。

【意見のポイント】

- 「設備の改善」「遊具の充実」「イベント・アクティビティの充実」「スタッフの充実と対応改善」は要望が多く、児童館での居心地とも関連している。
- 「デジタル機器の利用」「外遊びの充実」「開館時間の延長や日曜日の開館」も要望が多かった。

居心地がいいと感じるとき	居心地がよくないと感じるとき	反映できなかつた要望
友だちと一緒に遊んでいるとき	周りが騒がしいとき	設備の改善（温便座、冷蔵庫、ソファなど）
先生や他の人から優しく声をかけてもらうとき	友達がいないとき	遊具の充実（テレビゲーム、ペイブレード、サッカー、バスケットボールなど）
おもちゃや絵本がたくさんあるとき	ルールやイベントに不満があるとき	デジタル機器の利用
広いスペースでのびのびと遊んでいるとき	寒い・暑いなどの環境に不満があるとき	食事・おやつの改善（時間や種類の充実）
おやつの時間があるとき	喧嘩や嫌なことをされたとき	イベント・アクティビティの充実
学校や家ではできない遊びができるとき	先生や他の人に怒られたとき	外遊びの充実（時間や場所）
家以外に居場所があると感じるとき	おやつや食事に不満があるとき	開館時間の延長や日曜日の開館
勉強の合間にリフレッシュできるとき	遊び道具に不満があるとき	スタッフの充実（社会人ボランティアなど）や対応改善
異世代交流ができるとき	宿題ややるべきことがあって遊べないとき	児童館での動物とのかかわり
音楽や映画などのエンターテイメントが楽しめるとき	体調が悪いとき	学習・勉強環境の充実

※意見の多かった項目順に上から表示し、内容が関連する項目で色分け

3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

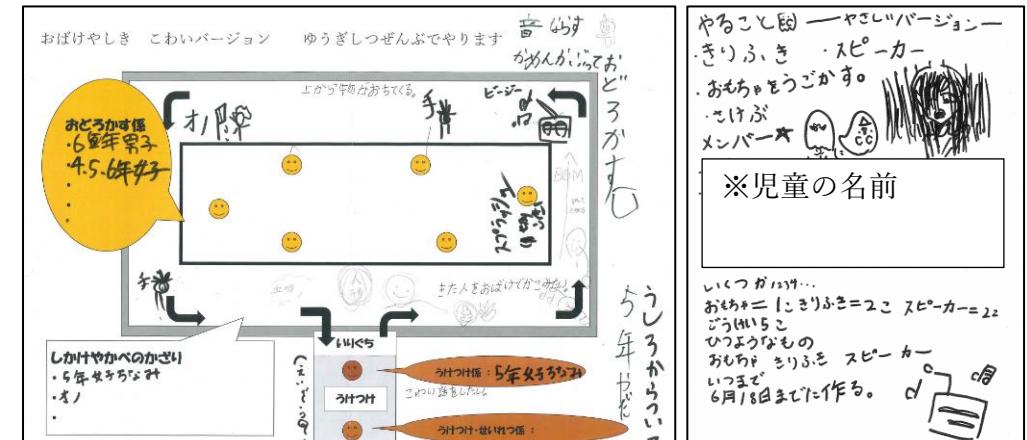
(2) 子どもが主体的に参画・参加した取組み

【新井宿児童館の事例】

意見聴取方法	対象	具体的な活動
①子ども会議	小中学生	・おばけやしきに向けての話し合い活動、意見聴取
②アンケート	小中学生、乳幼児親子	・学童保育児童へのリクエストおやつ ・各行事へのアンケート
③掲示板付箋等	乳幼児親子	・「おしゃべりひろば」を設置し、育児などでの悩みなどを気軽に相談したり、それについて保護者間で意見交換できたりする場を設ける
④意見箱	小中学生、高校生 乳幼児親子	・「きいてみよっと！」という意見箱を設置し、施設内でやってみたいことや伝えたいことなどが入れられるようにする ・ファミリールーム内に意見箱を設置し、意見などを聴取できるようにする

①子ども会議(おばけやしきに向けての話し合い活動)

おばけやしきスタッフを募集し、おばけやしき(7月実施)に向けて5月から定期的に集まり、おばけやしきでやりたいことや各担当をこども達で決めて、運営を行った。



3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

② アンケート(行事後アンケート・リクエストおやつ)

- 行事後にアンケートに記入してもらい、運営したスタッフのフィードバックに役立てたり、実際の感想を伝えたりするためのツールとして活用した。
- 学童保育児童にとって、おやつの時間がもっと楽しくなるように、定期的にリクエストおやつを実施。また、誕生日を迎える児童には、お誕生日会に食べたいおやつを聞き取り、提供できるようにした。



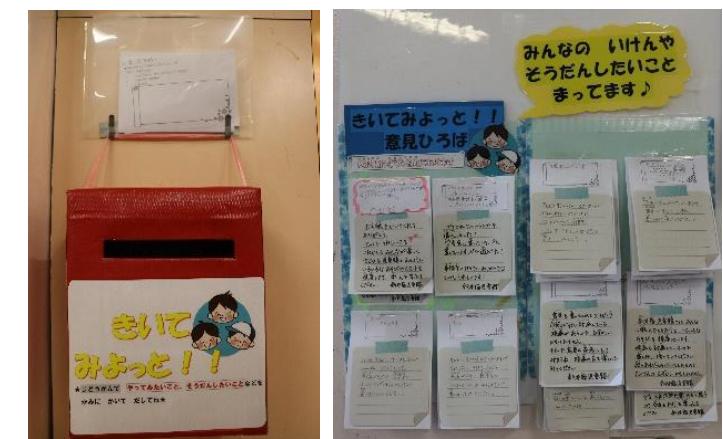
③ 掲示板付箋等(おしゃべりひろば)

- 子育ての情報や気持ちなどを共有できる場を設定し、保護者間の情報収集ができるようになり、互いに悩みを共感できたり解決に向けた回答を求めたりできるようにした。



④ 意見箱(きいてみよっと！)

- 児童館でやってみたいことや相談したいこと、置いてほしいおもちゃや本などを投函できる場を設置。投函してくれた意見は後日、返事を書き、意見が反映されたかどうかを確認できるように、小中学生、高校生を対象にした掲示板に提示している。



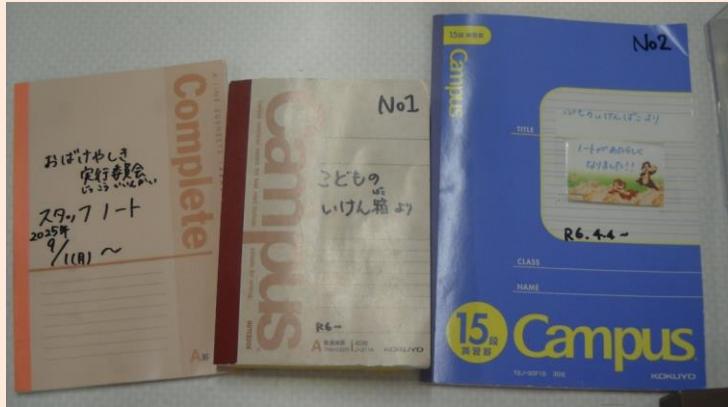
3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

③掲示板付箋(おしゃべりひろば)の意見・反映

子どもから出た意見	意見を受けての返事（ふりがな付で返事を記入している）
・学童の先生へ いつも楽しいことやいろいろなまんがと遊びを買ってくれてありがとうございます。だいすき	・お手紙をかけてくれてありがとうございます。とってもうれしいです。これからもみんなが楽しくすごせる児童館であるようにいろいろな遊びやイベントを提案します。楽しんで過ごしてください。
・プラスチックのトランプがほしい。机をきれいにしました。	・プラスチックのトランプを購入しました。学童保育室に買ったトランプを置いています。ぜひ遊んでね。おそらくありがとうございます。
・まんがの○○が読みたいです。	・まんがのリクエストがたくさんあるので、順番にそろえていきます。準備ができたら、図書室のホワイトボードでお知らせしますので楽しみに待っていてください。
・長靴でも一輪車をやらせてください。	・安全に遊ぶために、すべりやすく足の固定が弱い長靴では一輪車は乗れません。ひとりのけがが、ほかのお友達のけがをまねくこともあるので、みんなが安全に遊べるように協力してください。
・リクエストおやつにカルピスが出てほしいです。	・学童保育のおやつの時間で出せるようにしますね。出てくる日を楽しみに待っていてください。
・スマホを児童館でも触れるようにしてほしい。	・児童館では、児童館にあるいろいろな遊びで楽しんでもらいたいと思っています。スマートフォンは高価なものなので、館内での破損やその他のトラブルが起こった際に責任がとれません。引き続き児童館以外の場で使ってください。楽しい児童館これからも遊んでください。
・フラフープ検定がやりたい。	・いろいろな技で楽しめるように検定をつくってみます。ぜひチャレンジしてみてくださいね。
・ディアボロの時間を長くしてください。	・ディアボロを楽しんでくれていてうれしいです。みんなにはいろいろな遊びを体験して楽しんでもらいたいと思い、時間と内容を組んでいます。もらった意見を参考にしながら組んでいくので、今後もディアボロを楽しみつつ、他の遊びにもどんどん挑戦してみてね！
・一輪車を毎日やらせてほしい。	・一輪車の時間を楽しみにしてくれているのですね。とってもうれしいです。児童館では、限られた時間の中でみんなにいろいろな遊びを楽しんでもらいたいと思って組んでいます。一輪車の時間も大切にしたいですが、毎日は難しいかもしれません。ホワイトボードを気にしてみてくださいね！
・○○のぬりえがほしい。	・ぬりえはいろいろなキャラクターを出しています。今出していないものも聞いてみるとあるかもしれないで、まずは新井宿児童館のおとなの人聞いてみてください。○○もありますよ！
・紙ひこうきタイムをしたい。	・おもいきりとばして遊べるようにとりいれていますね。ただ、紙ひこうきタイム後は、かならず紙ひこうきのおとしものがあるので、紙ひこうきの管理をしっかりして遊びましょう。（名前は必ず書く、必ず持ち帰る）
・ホッピングをやりたいです。	・ホッピングは、屋上でしか遊べない遊び道具です。夏は暑すぎて、屋上遊びができないので、9月のすずしくなる時を待っていてくださいね。
・ベーゴマをけずりたい。	・意見を出してくれてありがとうございます。夏休みなど、時間が長くとれて、みんながじっくり作業できる時にベーゴマをけずる時間を持つてみたいと思います。また、こうちゃん先生のベーゴマ教室でもけずれるのでぜひ参加してね。

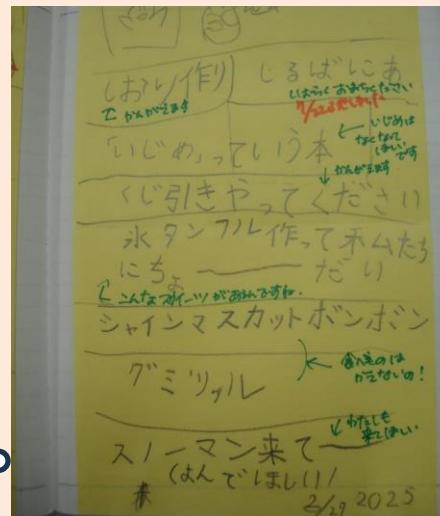
3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

【西糀谷児童館の事例】



多目的室（小中学生の部屋）に意見箱と意見ノートを常設。いつでも意見を投函でき、出された意見には全て職員からFBを記載。FBを記載した意見メモは意見ノートに貼り付けるので誰でもいつでも子どもの意見と職員のFBを読むことができます。

子どもの意見に
フィードバック
し、ノートに貼
り付け。2冊目



« こども企画 おばけやしき »

子どもの意見箱に「おばけやしき」をやってみたいという意見が入り、こども実行委員を募集して準備を始めました。

おばけやしき 第1回実行委員会～当日



3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

2 その他の取組み

(1)公園

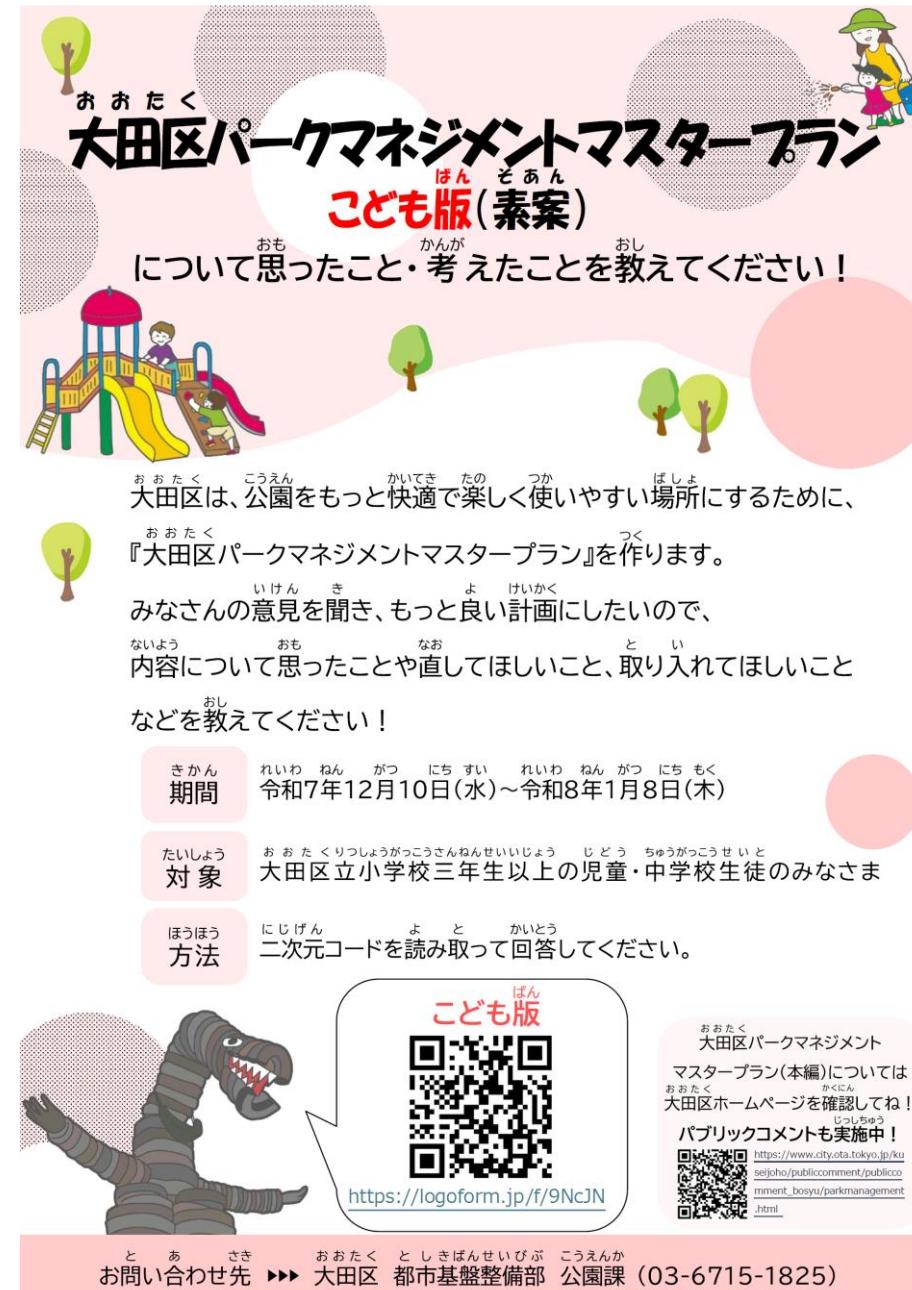
●大田区パークマネジメントマスターplan

(令和7年度策定予定)

- ・子どもアンケートの実施
- ・素案のパブリックコメントにおける、子どもの意見聴取の取組み



●子どもの声を活かした公園づくり



3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

2 その他の取組み

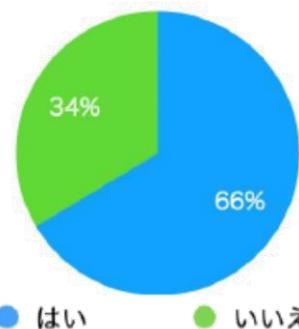
※ 地域での子どもの遊び場アンケート令和5年度 実施報告書より抜粋

(2)青少年対策地区委員会

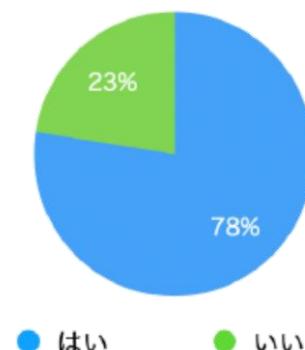
① 羽田地区の事例：「地域での子どもの遊び場アンケート」（令和5年度実施）

- 目的：羽田地区での子どもたちの遊び場の現状把握と、親子で日頃の遊び場について、会話を深めるきっかけづくり。
- 配布対象：羽田特別出張所管内小学校全学年児童数、羽田特別出張所管内中学校生徒会役員

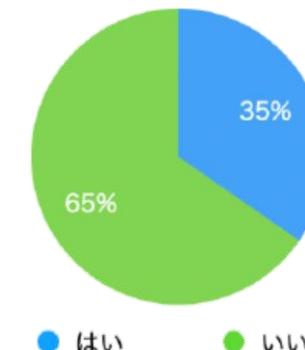
Q1) 近くの公園でよく遊んでいますか？



Q2) 町会の行事に参加しますか？



Q3) 児童館をよく利用しますか？



Q4) 子どもの遊び場としてどのような施設体制があれば良いと思いますか？

<公園について>

- ・公園にテーブルがほしい
- ・天候に左右されない無料の室内運動施設がほしい
- ・ボール遊びができる公園を増やしてほしい

<居場所について>

- ・おしゃべりしながら勉強できる場所がほしい
- ・中学生だけの自習室がほしい
- ・高校生や大学生が勉強を教えてくれる場所がほしい
- ・高校生や学生とサークル活動のようなことができると良い。
- ・勉強や読書に集中できる場所がほしい

② 矢口地区の事例

- 大田区子どもガーデンパーティーの際、ボードを設置し、会場内で「一番楽しかったブース」にシールを貼ってもらう取組み。
▶人気の高かったブースの継続配置や拡充など、次年度の企画の判断材料として活用。
- バスハイク等のイベントでは、参加者全員からアンケートを募る。
▶希望の多かった場所を次の候補地とする、人気のあるイベント等を把握し、深堀りして次年度以降の活動に反映。

3 居場所における「子どもの意見聴取」の取組み

2 その他の取組み

(3)地域とつくる支援の輪プロジェクト

子どもの生活応援に資する活動を行っている地域活動団体、大田区社会福祉協議会、区とのネットワークを構築し、地域における子どもの見守り機能を強化することを目的に、「地域とつくる支援の輪プロジェクト」を実施している。子どもを取り巻く地域の課題をテーマとするワークショップ、子ども1000人アンケートなど子ども・若者の声を聴く事業を実施している。

【令和7年度全体会】

実施日： 令和8年1月10日(土) 午後2時～4時

場所： 大田区産業プラザ

参加： こども・若者、地域活動団体(こども食堂、学習支援、読み聞かせ、プレーパーク等)、主任児童委員、青少年対策委員会、関係機関(フラットおおた、中高生ひろば、JOBOTA・SAPOTA、等)、大田区社会福祉協議会、区関係部

内容： ワールドカフェ形式で、こども・若者の話したいテーマで討議

3 地域における子どもの居場所づくりと連携

区内の子どもの居場所

●公共・民間施設等

学校、放課後ひろば、児童館、中高生ひろば、
子ども家庭支援センター キッズな、
大田区若者サポートセンター フラットおおた、
放課後等デイサービス、図書館、公園、神社、商業施設、飲食店等

●地域のボランティア等が提供する場

青少年対策地区委員会による活動、地域学校協働活動
こども食堂・学習支援等、こどもへの支援に関わる活動

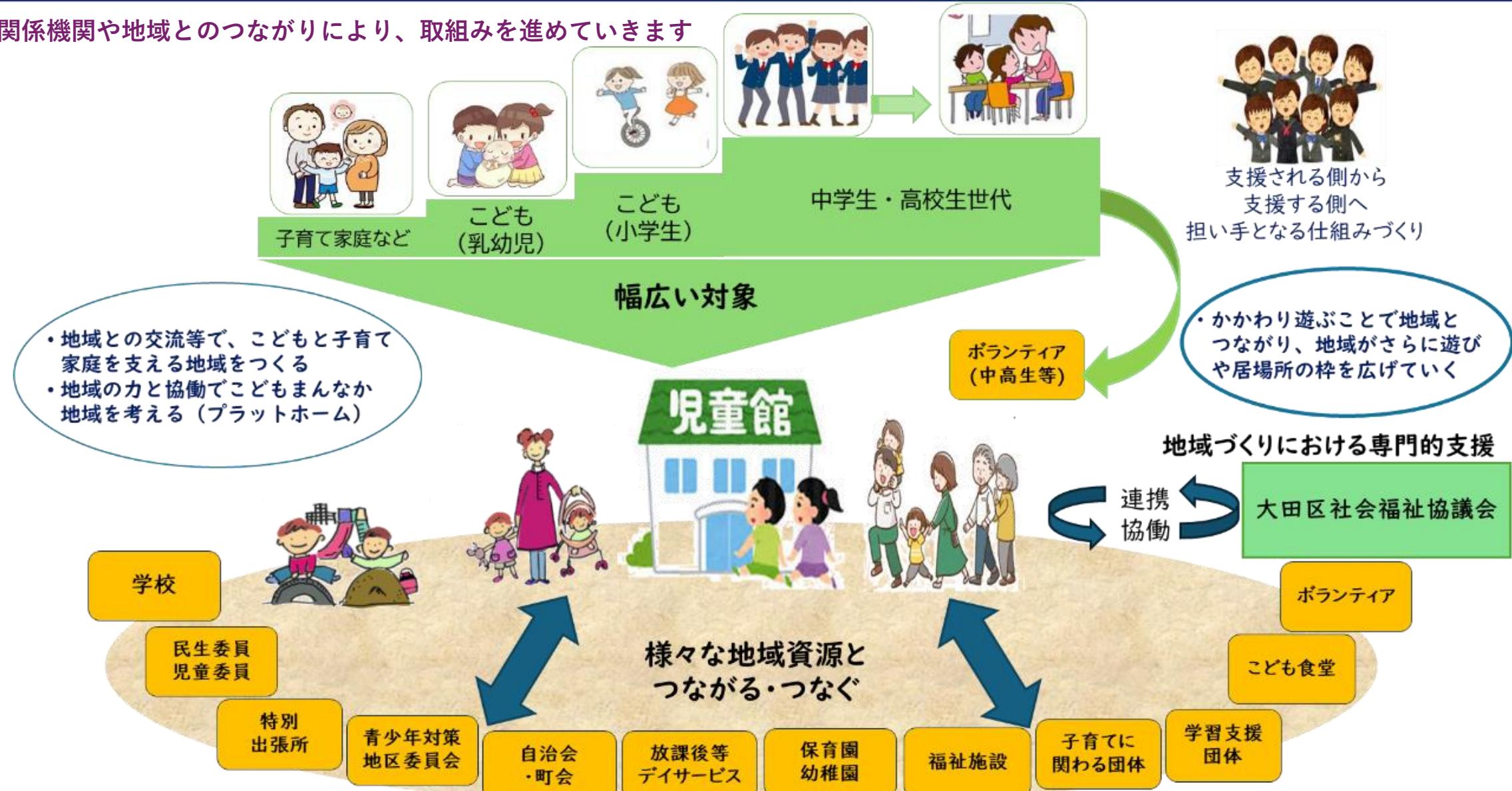


・「子どもの居場所づくりに関する指針」では、子ども・若者が居場所と感じる場所が「子どもの居場所」であり、居場所は変わりやすいという特徴に鑑み、居場所を複数持つことが重要とされている。

・子ども・若者の声を聴き、居場所づくりに反映させ続けること、関係機関・地域団体で連携し、地域全体で取り組む体制づくりが求められている。

地域づくりを支えるイメージ図

関係機関や地域とのつながりにより、取組みを進めています



参考資料 大田区こども食堂マップ

出典：大田区社会福祉協議会



こども食堂ってどんなところ？

子どもが一人でも安心して利用できるよう、地域の方たちが無料または低額で食事を提供しています。開催回数や内容も、さまざま。食事だけでなく、体験や学習の場、多世代交流など、いろいろなカタチがあります。誰でも気軽に集まれるみんなの居場所です。



大田区こども食堂マップ

発行 ●社会福祉法人 大田区社会福祉協議会



載っている団体は大田区こども食堂連絡会に加入し、このマップに掲載希望の団体です。

こども食堂を応援してくださる方へ

●食料品などの寄附、ボランティア活動希望等のお問い合わせは、各こども食堂または、大田区こども食堂連絡会事務局(大田区社協)までお問い合わせください。

[ボランティア活動について]

●調理 ●配膳 ●片付け ●学習補助 ●遊び ●子どもの見守り

[配膳について]

●賞味期限を確認ください。
冷凍冷蔵食品を受け付いているところもあります。事前にご相談ください。

●おむすびなどのスペースがない食堂もあります。おむすび替え、授乳などをする際にはまわりに配慮しましょう。

●こども食堂ごとに、利用するときのルールを決めているところがありますので、確認しましょう。

●みんなで、楽しく食事ができるように心がけましょう!!

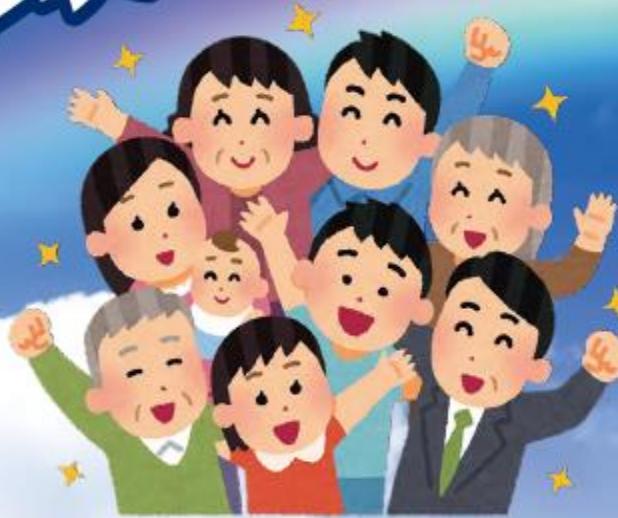
大田区こども食堂連絡会に参加しませんか？

「大田区こども食堂連絡会」とは、地域でこども食堂を運営している人たちが交流をし、こども食堂の輪を広げ、誰もが住みよいまちをつくるためのネットワークです。

[対象] ●区内のこども食堂で活動中の方

開催状況が変わる場合もあります。最新の情報は、各団体のSNS等をご確認いただくか、大田区社会福祉協議会までお問い合わせください。

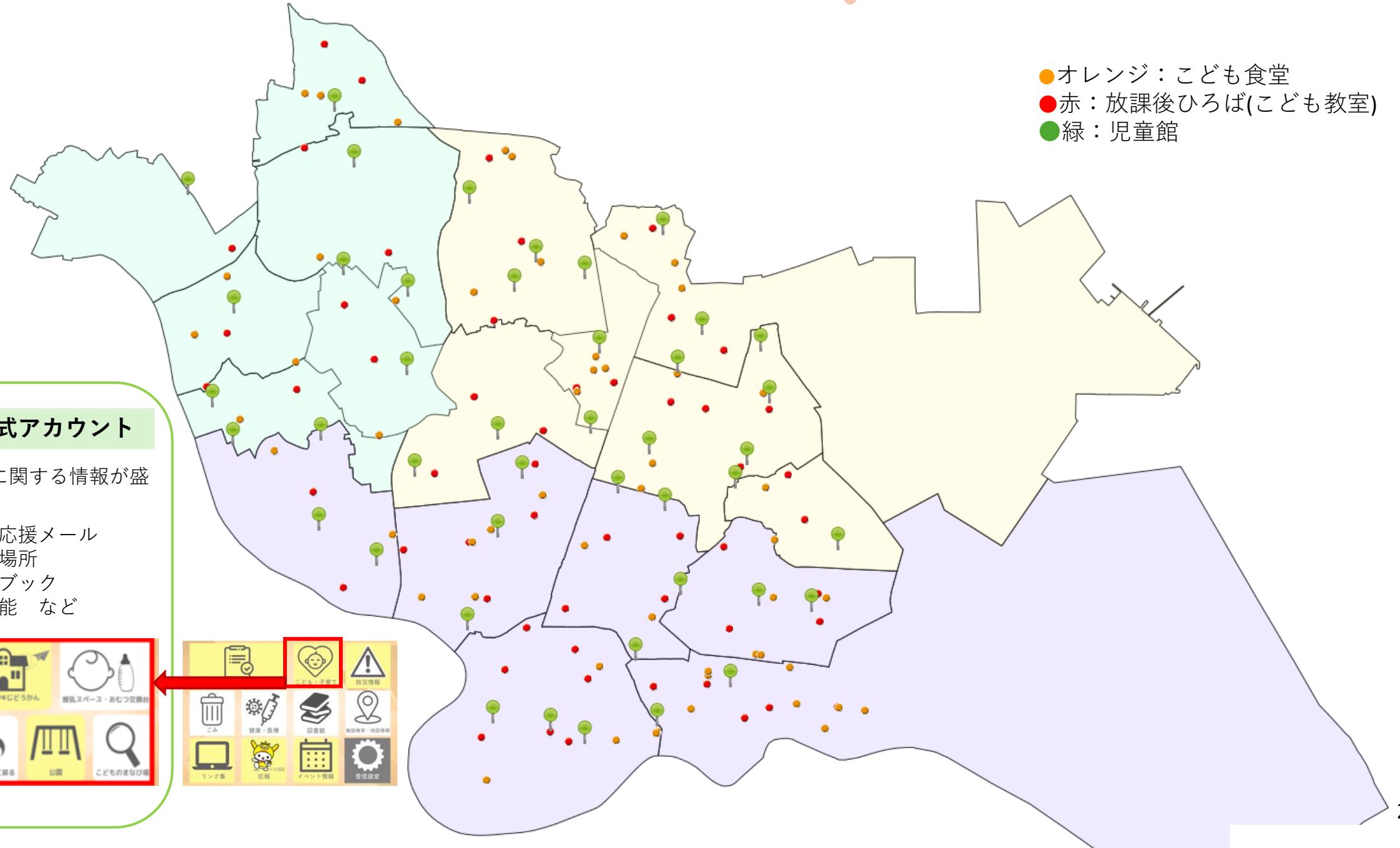
地域とつくる支援の輪プロジェクト



「地域とつくる支援の輪プロジェクト(通称：輪プロ)」は、大田区・大田区社会福祉協議会・子どもの生活応援に資する支援を行っている地域活動団体のネットワークを構築し、地域における子どもの見守り機能を強化することを目的として、平成30年度から実施しています。



参考資料：こども食堂・放課後ひろば・児童館分布



大田区LINE公式アカウント

子ども・子育てに関する情報が盛
沢山！

- ・大田区子育て応援メール
 - ・おでかけ・居場所
 - ・子育てハンドブック
 - ・保育園検索機能など



LINE公式
アカウント

